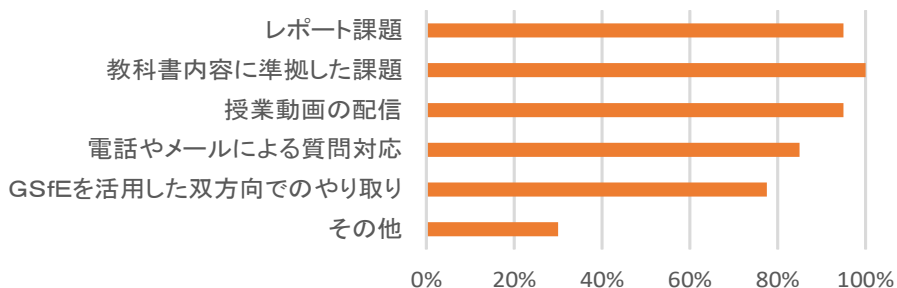


# 在宅教育の取組状況について

令和2年8月7日  
学校教育課  
特別支援教育推進室

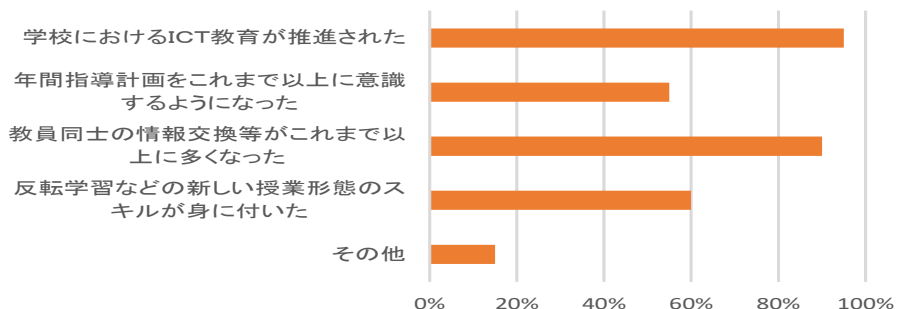
## 1 県立高等学校の取組

### 1 取組内容



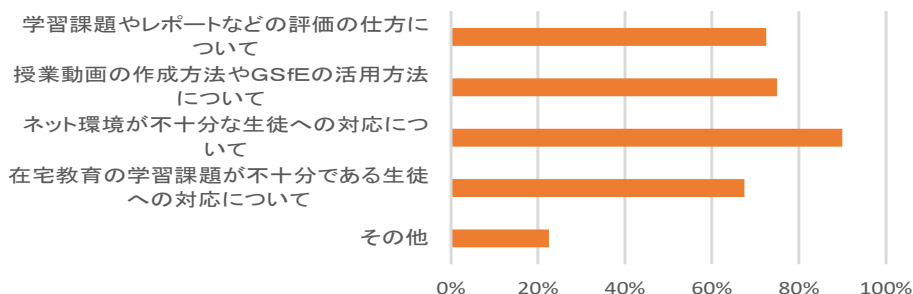
- 各校においては、「県立学校における在宅教育に関するガイドライン（中学校・高等学校編）」を踏まえて、レポート課題や教科書内容に準拠した課題を中心に在宅教育に取り組んだ。
- 5月以降、授業動画の配信を行うことで、学習支援の充実につなげた。（別紙参照）

### 2 在宅教育に取り組んだことによる利点



- 在宅教育に取り組んだことにより、学校におけるICT教育が推進された。
- 課題や動画の作成を通じて、教員間での情報交換等が活性化された。

### 3 在宅教育に取り組む上での課題



- ネット環境が不十分な生徒への対応について、端末の貸出を含めて苦慮した。
- 動画の作成やGSfEの活用について、教員間でスキルの差がある。

#### 4 「G Suite for Education」の活用による学習状況の把握

・Google社の端末を貸与した学校に、以下の(1)～(3)について、調査を行った。

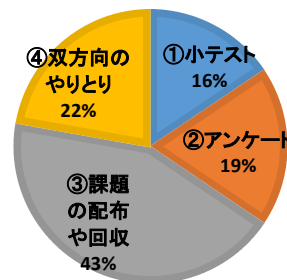
##### 【調査対象校 6校】

普通科：西の京、平城、登美ケ丘

農業科・工業科：吉野

商業科：奈良情報商業

福祉科：榛生昇陽



活用内容の割合

##### (1) G S f Eの活用内容と利点について

###### ①小テスト（学習課題の理解をはかるもの）

・客観的なデータとして、生徒の学習進捗度を容易に把握できる。

###### ②アンケート（学習課題についての自己評価や学習理解度の調査等）

・生徒の学習理解度や今後の課題について、即座に知ることができ、集約が容易である。

###### ③課題の配布や回収

・課題の回収について、提出者の確認が容易である。

###### ④双方向のやりとり（Meetの活用等）

・個人面談の実施や生徒の質問に対する返答など多方面で活用できる。

##### (2) ①から④に取り組む上での課題について

・スマホを使用している生徒が多くいたが、スマホは端末として画面が小さいため、使いにくい。

・各家庭により、通信環境が異なるため、インターネットに接続できない生徒への対応に苦慮した。

・G S f Eを活用するための生徒のスキルアップとともに、教員のスキルアップも必要である。

##### (3) (2)の課題への対応及び評価につなげるための工夫について

・貸与された端末を活用した。

・G S f Eを活用する上でのトラブルに対しては、電話での対応を基本とした。

・校内で、G S f Eについての研修会を開催した。

・小テスト、課題について、評価規準を生徒に示している。

## 2 特別支援学校の取組

### 1 動画配信等の取組

○動画による各教科の授業や特別活動（全校種）

○オンラインシステムを活用した同時双方向型授業（肢体不自由、病弱、知的障害）

○新入生に向けた動画による校内施設等案内（全校種）

（学習内容例）

・動画による手作りフェイスシールドの作り方、手洗いの方法、健康指導

・ダンス、ストレッチ等の運動

・動画によるクラス紹介やクラブ紹介

・タブレット端末を活用した遠隔でのホームルーム 等

- ・各校においては、「県立学校における在宅教育に関するガイドライン（特別支援学校編）」及び各児童生徒等の個別の指導計画を基に、学習のねらいと対象となる児童生徒の実態に応じた動画を作成した。（例 盲学校（音声の配信）、ろう学校（手話や文字による動画）、肢体不自由、知的特別支援学校（自立活動を中心とした動画）等）

## 2 動画配信等取組の工夫

- ・プリント学習を併用することにより、児童生徒の学習理解が深まるように工夫。
- ・保護者や児童生徒等の感想を聞き取り、伝え方の工夫や視覚支援の使い方等、次の動画作成に反映させた。

## 3 今後の方向性

- ・オンラインの授業の質を向上させる。
- ・各学校の取組について学校間で情報の共有ができるようにする。
- ・臨時休校の場合だけでなく、長期休業期間の課題等にも活用していくことを検討する。

### ③ 在宅教育の今後の方向性及び課題への対応

- ・今後も感染状況の変化により再び在宅教育の実施が必要となることも考えられることから、動画配信を含めたオンラインの活用を継続する。
- ・オンラインの活用や「反転授業」により、授業の質や進度を確保する。

○授業動画の作成方法・G S f Eの活用方法について

→ 教育研究所にて、G S f E研修を開催

○ネット環境について

→ 生徒用貸出モバイルルータの整備

○学習課題が不十分な生徒への対応について

→ 学習指導員等の活用

# 在宅教育に係る動画配信等の取組状況について

別紙

令和2年8月7日 学校教育課・特別支援教育推進室

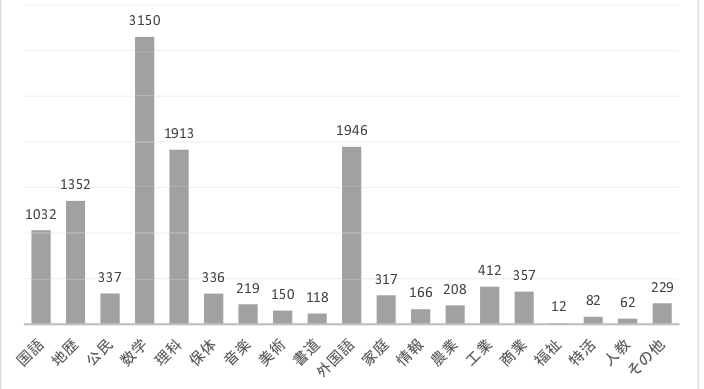
## <高等学校>

番号	学校名	配信動画数		備考
		5月29日	5月8日	
1	奈良朱雀	140	72	Meetを活用し遠隔授業及びホームルームを実施。G Suiteを活用し健康調査を実施。
1	奈良朱雀(定)	45	33	
2	国際	32	14	Classi等の学習アプリを活用し、既製の動画66本を配信。
3	奈良	233	132	
4	西の京	76	24	各教科科目の1ヶ月分の課題を2回に分けて生徒宅に郵送。ホームページで在宅で学習するために迅速で有効なNHK高校講座等を紹介。
5	平城	170	50	
6	高円	177	117	
7	登美ヶ丘	33	26	G-suiteの有効活用。meetを使った個人面談、部活動や各種委員会のミーティング。またクラスルームを活用した学級連絡、教科の課題提供、回収、アンケート、スライドを使った授業などを積極的に実施。
8	山辺	60	45	
8	山添分校	45	22	
9	高田	259	43	著作権に配慮しながら、資料(写真等)を多くあげ、ビジュアル化した。動画アンケートを実施し、生徒の意見を聞きながら、今後の作成に役立てようとした。
10	郡山	624	400	
11	大和中央(定)	84	15	
11	大和中央(通)	0	0	Google Classroomを使用して健康調査を実施。
12	添上	287	157	6月以降は分散登校に対応するため、2週間分の動画を同時にアップする予定。
13	二階堂	99	70	パワーポイントの画面キャプチャが有効活用でき、スムーズな録画ができた。
14	樺原	342	141	課題と動画とフォームを活用してリモート学習を進めている。
15	畝傍	229	107	
15	畝傍(定)	9	0	G Suiteを活用した健康調査を実施。
16	奈良情報商業	156	93	1年生に向け、部活動紹介の動画を配信。全学年に、進路に向けての動画を配信。
17	桜井	211	35	
18	五條	302	154	本校では、iPadとペンシルを25セット常備しているため、動画作成が比較的スムーズに行えた。
18	五條(定)	32	32	52の課題を送付し、解説用に計32本の動画を作成し、DVDで配布。
18	賀名生分校	42	0	
19	御所実業	133	61	
20	青翔	213	67	GSFEのClassroomを学級別、科目別、部活動別(任意)に作成し、活用している。
21	生駒	167	85	5月最終週に、在宅教育課題の成果を測る確認テスト(レポート形式が主)を実施。その課題やテストの学習・解説用に動画の配信を行った。Classroom・Meetを使用し、1年はHR、2・3年は学年会議を実施。
22	奈良北	342	171	
23	香芝	306	55	meetを活用して、オンライン面談を実施した。健康観察を毎朝Googleフォームで行っている。Googleクラスルームレポート提出を受け付けた教科もある。理解度調査をGoogleフォームで実施している。
24	大宇陀	188	134	動画配信に加え、課題送付及び返信を学校と全生徒間で2回行った。また、動画を視聴できる環境にない生徒には、配信した動画と同じ内容のDVDを複数回送付した。
25	榛生昇陽	101	62	動画の長さ(長くて10分)、すべての人にとって見やすい配色、音量等に配慮して動画を作成するように共通理解を図った。学校再開後は、2週間を1クール(全3クール)とし、各教科・科目で復習に重点を置いた動画を作成・提供予定。
26	西和清陵	61	27	
27	法隆寺国際	255	98	
28	磯城野	88	40	
29	高取国際	154	0	反転学習充実のための動画作りを行う。その際、授業でしかできないことと、オンライン授業でもできることをすみ分ける。
30	王寺工業	141	60	動画については各教科科目で準備していたが、学校再開の見通しが立ったのでアップロードはしていない。
31	大和広陵	104	42	
32	大淀	272	134	
33	吉野	202	73	本校では動画作成に必要な機材がないため、校務PCで完結できるパワーポイントを活用し学習動画を作成した。
34	十津川	42	28	パワーポイントファイルも20本配信。
		6456	2919	

## <特別支援学校>

番号	学校名	配信動画数		備考
		6月3日	5月12日	
1	盲	90	15	専攻科の授業についても動画配信を行った。
2	ろう	105	70	5/12時点DVD対応。クラスルームを活用した。
3	奈良養護	96	20	動画配信の他にGoogle Classroomを使用して双方向授業を実施。視聴後の学習状況の把握が可能。
4	奈良東養護	55	32	FaceTimeを使用して生徒とのコミュニケーションを図る。
5	奈良西養護	80	60	動画配信の他にFace Timeを使用して双方向授業を実施。
6	二階堂養護	36	18	DVD対応。保護者からの感想をまとめて、ニーズを探るなど情報収集を行っている。
7	高等養護	17	13	Office365 Formsを使用して、一問一答形式の小テストを実施。5択問題(20問程度)をメールで全9回送信
8	明日香養護	106	60	視聴後の学習状況の把握が可能。
9	西和養護	27	6	登校したときのことを意識して予習のための動画を作った。
10	大淀養護	68	33	中学部、高等部ではオンラインシステムを活用した。動画配信に関する保護者・児童生徒アンケートの実施。
		680	327	

【県立高等学校 教科別動画配信数】



## 【GSFEの活用について】

- \* 健康調査
- \* Meetを活用した個人面談
- \* Meet、Classroomを活用したホームルーム
- \* 学習課題についての理解度調査